

# 5年 家庭科

**「ものやお金の使い方」**

# 単元の指導計画

大題材名	4. 持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方			教科書のページ	p.32~39
配当時数	6時間	活動時期	9~10月	学習指導要領の内容	C(1)ア(7)(イ)イ, (2)アイ

大題材の目標		物や金銭の使い方と買い物について、「持続可能な社会の構築」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、消費者として、物の選び方、買い方、使い方を考え、工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。
	思考・判断・表現	物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)上手に選ぶために考えよう			
・消費者の役割とは何か考えよう。物を手に入れるためのいろいろな方法を見つけよう。  p.32~33	1	①イラストを参考に、私たちはどのように物と関わって生活しているのかを考える。 ②消費者の役割について考える。 ③どのような方法で必要なものを手に入れるのかについて考える。	[思判表]発言・記録
(2)買い物の仕方について考えよう			
・目的に合った選び方、買い方ができるようにしよう。  p.34~37	4	①買い物の中で契約が成立する場面を考える。 ②買い物の方法や支払いの方法を考える。 ③買い物をするとき、何をどのように選ぶか、買い方の手順を考える。 ④買い物の場面を想定して、情報を集め、整理し、何を選ぶかを決める。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)上手に暮らそう			
・上手な物の選び方、使い方の学習を生かして、環境に配慮した生活を工夫しよう。  p.38~39	1	①消費者として持続可能な生活について、買い物と環境とのかかわりを知る。 ②自分らしい持続可能な生活の工夫を、カードなどにまとめて発表したり、発信したりする。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

東京書籍「新しい家庭」年間指導計画作成資料【5・6年】より

# 本時の指導案

## 4 本時の目標

- (1) 日常生活でどのように物と関わって生活しているかに気が付く。
- (2) 消費者としてお金や物を上手に使うために大切なことは何かを理解する。

## 5 本時の指導 (1/6)

学習活動	予想される子どもの意識の流れ	○指導上の留意点 ◎評価
1 学習の見通しをもつ。  (3分)	<p>お金は必要だと思いますか。</p> <p>生活するために必要です。 お金がないと食べ物を買えません。</p> <p>生活の中でお金はどのように使われているのだろう。お金や物を上手に使うためにはどうすればよいのだろう。</p>	<p>○ これからの学習への見通しをもつことができるような発問を工夫する。</p>
2 お金が使われている場面について話し合う。  (25分)	<p>お金が使われている場面にスタンプを置こう。</p> <p>本屋さんにはたくさんスタンプが置かれているね。 美容室にスタンプがあるよ。なぜだろう。 物だけでなく、形のないサービスに対してもお金を払っているんだな。</p>	<p>○ <u>ミライシードの「ムーブノート・スタンプ機能」</u>を利用して、イラストでお金が使われている場面にスタンプを置かせる。</p> <p>○ スタンプを集計し、友達が示した場面で疑問に思うことなどを話し合わせることで、形のない物にもお金が使われていることに気が付かせる。</p> <p>○ イラストや自分の日常生活を手掛かりに、お金が使われている場面を短冊用紙に書く。</p> <p>○ 短冊を黒板に貼り、どのような場面でお金が使われているのかを全体で分類する。</p> <p>◎ お金の使い方に関心を持ち、自分の生活の中で、どのようにお金が使われているかを進んで考えている。(短冊、発表)</p>
<p>タブレット (10分) 短冊記入 (10分) 全体発表 (5分)</p>	<p>どんな物やサービスにお金を使っているのだろう。</p> <p>バスに乗るときに運賃を支払います。 美容室で髪を切ってもらったらお金を払います。 お金を使う場面が日常の中でたくさんあるんだな。</p>	
3 お金や物を大切に使うために工夫できることを考え	<p>限りあるお金や物を大切に使うために、工夫できることは何だろう。</p>	<p>○ お金や物が、多くの人の労力や限りある資源やエネルギーを使って作られていることに目が向くような声掛けをする。</p>

# 生活の中でお金はどのように使われているのだろう。(タブレット)



①教科書の挿絵の中で、お金が使われていると考える場面にスタンプを押す。



②全員のスタンプを集計機能を使ってまとめ、その結果を教師機、児童機に表示する。



③児童は自分の考えと異なる場所に置いている児童に質問し、新たな考えに触れることができた。

# どんな物やサービスにお金を使っているのだろう。(話し合い活動)



①物、サービスごとに話し合い、日常生活でお金が使われている場面をホワイトボードに記入。

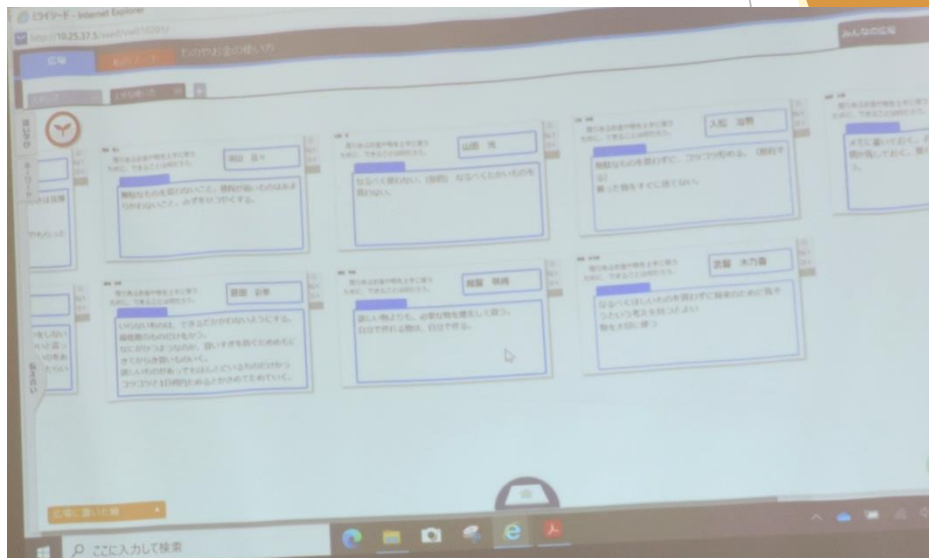


②「物」「サービス」に分けることで、見えないものにもお金が使われていることに気が付くことができた。

# 限りあるお金やものを大切に使うために、 できることは何だろう。（タブレットの活用）



①一人一人が自分の考えをタブレットに入力。



②考えを提出し終えた児童から、画面上で友達の考えを読むことができる。共感したときには、「共感」ボタンを押し、意志表示ができる。

# 限りあるお金やものを大切に使うために、 できることは何だろう。（振り返り）



① 友達の意見を読んで、共感したり、気が付いたりしたことを発表し合う。



② 友達の考えと自分の考えを合わせて発表することで、より深い気付きに結び付いた。また、板書に残すことで、全員でのまとめとすることができた。

# 成果

○タブレットを活用することで、短い時間で多様な考えに触れることができた。また、そこで気が付いたことを自分の言葉にして発表することで、目的に合った物の選び方や買い方の工夫について理解を深めることができた。

○スタンプ集計機能を使用することで、一人一人の考えを大切にしながら、全体の考えを素早く共有したり、意外な場所にスタンプを置いている児童の考えを紹介したりすることができた。

○タブレットの活用場面と話し合い活動を組み合わせたことで、主体的・対話的に学習する児童が多く見られた。

# 課題

- スタンプ集計機能など、特定のアプリケーションソフトでないと活用できないものがある。
- タブレット上の考えに触れる時間と、全体での考えを深める時間との区切りを明確にするため、全体発表の際には、タブレットを閉じる等、児童の注意を向けるための工夫が必要である。
- 文章を入力するためのタイピング練習が十分でないと個人差が出てしまうため、系統的な学習カリキュラムが必要である。